

# 研究所だより

発行日:2023.11.9 発行:稚内市教育研究所  
〒097-0012  
稚内市富岡1丁目1番2号(風〜るわっかない)  
TEL・FAX:0162-73-6386  
E-mail:wak-kenkyujo@abelia.ocn.ne.jp

## 「第2回学校図書館活用実践交流会」開催

【日時】10月24日(金)15時-16時30分 【会場】東小学校図書館

学校図書協力員、図書担当教諭、市立図書館職員、研究所職員が参加し、標記研修会を開催しました。研修会では、学校図書館運営の実際や各校の実践を学ぶことにより、学校図書館の活用や読書推進活動の取組、読書環境等がより豊かになることをねらいとしています。

始めに、研究所より全国学力・学習状況調査「児童、生徒質問紙経年推移」の「読書関連」項目の結果から、稚内市の子供達の読書離れが年々進んでいるという報告を行いました。

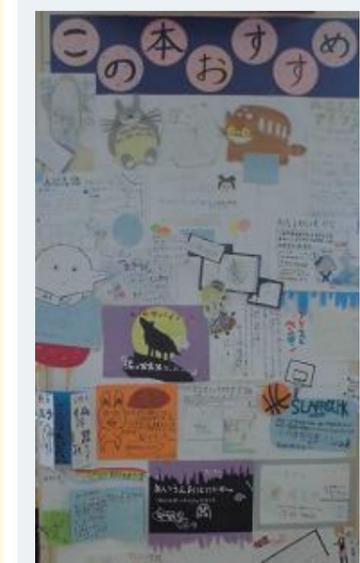
続いて、学んだ点や感心させられたこと、自校に取り入れてみたいことなどを付箋に書きながら見学した後、KJ法による交流を行いました。参加者からは、協力員がいない時も借りられる予約システムがよい、シリーズ本が見つけやすい、季節感がある立体的な飾りつけやスケッチブックを活用した掲示が素晴らしい、ポップが凄いい子ども達のポップも上手、くつろぎコーナーがあって気持ちを休められる、ぬいぐるみが飾ってあったり遊べたり癒される等々、選書しやすい工夫や環境整備・居場所づくりについて感想が出されました。児童玄関前に本を置き、子ども達が本に触れる機会を増やす工夫をしていることも話題になりました。

その後、図書協力員から「学校図書館活用を図る特徴的な取組」について資料を基に説明がありました。(以下、交流内容の一部を紹介します)

- 10月のミステリー記念日に、江戸川乱歩作家デビュー100周年を合わせてミステリーコーナーを設置。昨年は江戸川乱歩の貸し出し数は0だったが、今年は数名の利用があった。
  - 先生方の読書への意向を知るために独自のアンケートを実施。先生方の声や現状をみながら児童の活字離れを少しでも阻止できるように、読書を楽しんでもらえるように色々なことに挑戦中。
  - 子ども達が、図書室に行ってみようかな、本も読んでみようかなと思えるよう、季節の飾りつけや参加しやすいイベントを企画。読書週間に合わせ、11月から「読書スタンプ」の取組を予定。
  - 授業で図書館資料を使う予定の教科と単元を確認し資料の準備、季節に合った特設コーナーづくりなどを実施。図書担当教諭がタブレットで購入希望図書の全校アンケートを実施した。
  - 子ども達とのスキンシップを大切にしている。クイズや心理テストの本と一緒に読んで本に興味を持ってもらうようにしたり、顔と名前を覚えてもらうことで来室しやすい環境を目指したりしている。
- 市立図書館の近藤館長からは、現状の課題を解決すべく、新刊コーナーを拡充したり、シニアコーナーの新設やヤングアダルトコーナーの刷新を図ったり、差し込みサインを見直すなど、書庫のリニューアルに取り組んでいること、子ども向けの様々な取組について報告がありました。

近藤館長の挨拶で研修会を終了しましたが、学校図書館・市立図書館とも、多くの人に来館してもらうために、本を手にしてもらうために様々な工夫をしていること、そして、そのアイデアを学び合うことができました。

日暮れが早くなり家に居る時間が長くなるこれからの時期、家庭での過ごし方の選択肢の一つに「読書」が入ってくれることを願わずにはられません。



図書委員による推薦本コーナー

季節の飾り



←ジャンルを表示



## ◆ 参加者感想から一部抜粋して紹介します ◆

### 【東小図書室を見学して】

- 子どもたちが楽しく利用できるアイデアがたくさんあって、自校でも取り入れてみたいと思いました。
- アイディアがいっぱいつまった図書室で、入った瞬間ワクワクしました。
- 児童玄関から入ったのですが、そこに図書館から借りているブックバックを展示してありました。低学年のうちから本を読む環境を、と先生方に協力してもらい様々な取組を行っていること、大変素晴らしいと思いました。長期的に見通しを持って行うために、学校側と連携がとれているのは協力員さんの努力の賜物だと思います。
- 実際に図書室に足を運べると、勉強になることが多いなと思いました。今年も図書委員の子どもたちと活動しているので、参考になりましたし、自校の図書委員の子らにも見せてあげたいと思いました。
- 初めて他校の図書室訪問をさせていただきましたが、ただただスゴイ!の気持ちでした。早く仕事に慣れて図書室を良くしたいです。

### 【実践交流・図書協力員さんについて】

- 子どもたちとのコミュニケーションを大切にしていると聞き、初心にかえった気持ちになりました。本と人をつなぐためには、人と人とのコミュニケーションの大切さを深く考えさせてくれました。
- 実際にいろいろな学校の工夫を見ることができて、交流ができて、ためになるといいますし、日々相談する機会が少ないであろう協力員さんの交流の場になる貴重な機会だと思います。
- イベントや展示など自分でやりたいことを計画的に行えるようになったものの、学年本の内容の見直し、蔵書点検(みなさんいつやっているのでしょうか?子どもたちが来ない長期休暇中にやれたらいいのにといます)、教科書に載っている本等手つかずのところも多くあります。教科書はこのタイミングで取り組みたいです。
- 子どもたちの減少もあり、図書委員というものもなくなってしまい、本当に殺風景な図書室になっていましたが、図書協力員さんが来てくれ、カラフルな掲示・見やすい展示・楽しい工夫、こんなに雰囲気が変わるのだと肌で感じました。
- 大変参考になりました。協力員さんは素晴らしいです。遠い宗谷なども見学したいと思いました。
- 図書協力員の皆さんが、小・中学校両方というだけでも大変だと思っていたのですが、更に沿線校まで行かれて活動されていることに驚きと共に敬意を覚えます。
- ブックエンドや補修用テープを買って欲しいと事務の方にお伝えしたら、快く買ってもらえました。図書担当の先生もとても協力して下さいます。

### 【要望】

- 交流会の2回目の時だけでも委員会の図書担当の方に参加していただきたい。⇨ **教育委員会との連携**
- 2回あるうちどちらか1回は協力員さんたちが気軽に話せる会があると、その時に困っていることとか、聞きたい事とか話しやすいのかなと思いました。⇨ **交流会の持ち方や・内容の工夫**
- 発刊が今から40年以上前の本などは優先的に抜き、「閉架扱い」にして別の場所に置いています。戦争の時のお話など、内容が良くても本自体が古すぎて手に取るのも躊躇します。どの本を除籍するかはひとりでは悩むので、いっそ委員会のほうからこのシリーズ除籍していいよと連絡してもらえたら…(図書館で除籍している本を教えてください)。⇨ **除籍のルール**
- 本や本の補修用品以外で各学校に図書室用の予算を少しつけてもらえると嬉しい。⇨ **読書環境整備の予算づけ**
- 図書室の環境を整えるための予算が各校どうなっているのか、交流したら良い。協力員さんの持ち出しが多いように感じた。協力員さんの意見を聞くシステムや予算を整備すると良い。⇨ **図書担当者との連携など**

## お知らせ

お申込みありがとうございます

研究所では、現在 ICT 活用講座を開催しています。既に3回の講座を終え、次の2回を残すのみとなりました。

参加申し込みを受け付けておりますので、希望される方はメールまたはファックスでお申し込みください。

● 11月21日(火) ロイロノート 申込メ切 11/15

講師:小林巧治先生 会場:大研修室 2

● 11月27日(月) 様々なアプリ・デジタル教材 申込メ切 11/21

講師:嶋野和彦先生 会場:教育研究所または教育相談室